

校長通信

令和5年度 8号

令和5年6月20日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

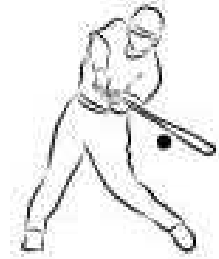
《軟式野球部、卓球部 県大会で大活躍！》

6月17日（土）、御坊総合運動公園（野球場）で、和歌山県中学校軟式野球大会（県決勝大会）が開催され、紀北第2位の河北中学校が、紀南第1位の田辺市立新庄中学校と対戦しました。

試合は、両チームのエースが素晴らしいピッチングをし、手に汗握る投手戦となりました。新庄中学校の足を絡めた攻撃に、2点を献上し、惜しくも2対0で敗戦しました。敗れたとはいえ、ピンチをダブルプレーで凌いだり、日頃鍛えられた守備力がいかんなく発揮された好ゲームでした。

また、この日、和歌山市の和歌山県立体育館で中学校卓球の県大会があり、本校の男女選手が、ダブルス、シングルの試合に出場しました。卓球の試合は、風に影響されるので、体育館の窓やドアは閉め切って行われます。また、この日は快晴で暑かったのですが、エアコンは作動されておらず、館内はかなり蒸し暑い状況でした。そのような厳しいコンディションでしたが、本校の選手は、集中力を切らすことなく、一生懸命、全力でプレーしていました。結果は、女子ダブルスでベスト4、男子シングルスでベスト8に入るなど、好成績をおさめました。入賞できなかった選手も、よく頑張っていたと思います。

野球部、卓球部の選手は、今回の試合経験を生かし、夏の大会でも更に素晴らしい試合を展開してくれることを期待しています。



《剣道の国体予選に出場しました！》

6月18日（日）和歌山県立体育館で、剣道の国体選手予選（選考）が開催され、成年団体大将の部（55歳以上）に出場しました。大将の部は、5名エントリーがありました。

1回戦、私の相手は、3週間前の全国教職員剣道大会和歌山県予選で対戦し、3回の延長戦の後、面をとられて負けを喫した選手でした。当日、勝っても、負けても長期戦になるだろうな～と予測していたのですが、なんと相手は、体調不良により棄権していました。戦わずして、2回戦にコマを進めたのですが、2回戦の相手は、1昨年度、和歌山県が全国都道府県対抗剣道大会で優勝した時のメンバーで、これまた強敵です。そしてこの選手は、私の日進中学校剣道部の一つ年下の後輩でもあります。

試合が始まり、両者、有効打突がないまま、5分間の試合時間の中盤に差し掛かった時です。私が思い切って相手の小手をねらって打ち込んだ瞬間、素早くかわされ、面を打ち込まれ、一本取られてしまいました。その後、こちらから、積極的に技を出して行き、相手の手元が上がった瞬間を逃さず、小手を打ち、一本、取り返しました。これで1対1。次に1本決めた選手が勝利を得ます。しばらく攻防が続きましたが、どちらも有効打突がなく、時間がたち、延長戦に突入しました。疲れも出てきて、早く試合を決めたいと、少し焦って面を打った瞬間、相手は冷静にこちらの動きを察知し、私の小手を見事に打ち込みました。そして、私は敗退しました。結局、この相手選手が、勝ち上がり、和歌山県の国体代表選手に選ばれました。

またまた、試合で勝利することが出来ませんでした。が、「打って反省、打たれて感謝」の精神で、これからも更に精進して行きます。



shutterstock.com · 1709505295